



2022年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年11月4日

上場会社名 株式会社セルシス(旧社名アーツパークホールディングス株式会社) 上場取引所 東
 コード番号 3663 URL https://www.celsys.com
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 成島 啓
 問合せ先責任者(役職名) 取締役 (氏名) 伊藤 賢 (TEL) 03-6820-9590
 四半期報告書提出予定日 2022年11月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年12月期第3四半期の連結業績(2022年1月1日~2022年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年12月期第3四半期	5,544	6.8	1,233	11.5	1,339	16.1	875	△25.4
2021年12月期第3四半期	5,192	11.3	1,106	74.9	1,153	87.3	1,174	—

(注) 包括利益 2022年12月期第3四半期 922百万円(△22.9%) 2021年12月期第3四半期 1,197百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年12月期第3四半期	24.90	24.52
2021年12月期第3四半期	36.01	35.39

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年12月期第3四半期	10,319	8,367	80.5
2021年12月期	8,344	6,576	78.5

(参考) 自己資本 2022年12月期第3四半期 8,308百万円 2021年12月期 6,552百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年12月期	—	0.00	—	3.00	3.00
2022年12月期	—	0.00	—	—	—
2022年12月期(予想)	—	—	—	8.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

・当社は、2021年7月1日付で普通株式1株につき4株の割合をもって株式分割をしております。2021年12月期については、当該株式分割後の配当金の金額を記載しております。

3. 2022年12月期の連結業績予想(2022年1月1日~2022年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,727	12.1	1,942	40.9	1,894	33.4	1,352	10.6	39.23

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社 (社名) 一、除外 1社 (社名) 株式会社セルシス
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2022年12月期3Q	36,271,180株	2021年12月期	34,456,080株
② 期末自己株式数	2022年12月期3Q	947,448株	2021年12月期	235,128株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2022年12月期3Q	35,173,878株	2021年12月期3Q	32,622,006株

(注) 当社は、2021年7月1日付で普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「1.当四半期決算に関する定性的情報 (4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 中期経営計画の進捗に関する説明	3
(3) 財政状態に関する説明	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは、デジタルによるコンテンツの創作から利用・活用に至るまでの諸活動をトータルに支援できる環境の提供を経営理念に掲げ、事業を推進しており、当連結会計年度におきましても、ソフトウェアIPを核とした経営に重点を置き、戦略的な開発投資を継続して行い、企業価値の向上に注力しております。

9月1日には、グループの中長期的な成長の実現を目的に、より機動的なクリエイターサポート事業の経営体制構築を目指し、株式会社セルシスを合併し、社名を株式会社セルシスとして活動を始めております。

当社グループの当第3四半期連結累計期間の売上高は5,544,308千円（前年同期比6.8%増）、営業利益は1,233,533千円（前年同期比11.5%増）となりました。

また、経常利益につきましては、助成金収入24,439千円、為替差益95,165千円を計上したこと、株式交付費7,790千円等により、1,339,402千円の経常利益（前年同期比16.1%増）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、第1四半期連結累計期間で事務所移転に伴う固定資産除却損及び賃貸借契約解約損を60,215千円計上したこと、法人税等406,032千円を計上したことにより、875,984千円の親会社株主に帰属する四半期純利益（前年同期比25.4%減）となりました。

また、子会社のカンデラが展開するUI/UX事業は、2022年後半以降の市場回復・拡大をにらみ、開発投資とパートナーとの提携を積極的に行って行いましたが、当事業の主要な顧客である自動車関連分野は、前期に引き続き、新車開発の遅れによるモデルチェンジサイクルの長期化や、半導体不足等による生産台数の減少等を受け、厳しい事業環境が続いております。このような事業環境を踏まえたうえで、将来の収益貢献見込み等を慎重に精査し、当社グループにおけるUI/UX事業の役割及び位置づけの抜本的な見直しを引き続き行っております。

事業別セグメントにつきましては、以下のとおりであります。

<クリエイターサポート事業>

第3四半期においても継続して、イラスト・マンガ・Webtoon・アニメーション制作アプリ「CLIP STUDIO PAINT」の機能向上を目的とした開発投資を行いながら、海外利用ユーザー及びサブスクリプション契約の増加を目的とした、全世界に向けたプロモーション活動を実施しております。

「CLIP STUDIO PAINT」は、2022年9月現在では累計出荷本数が2,300万本（前年同月比55.6%増）を超え、そのうち75%以上が日本語以外の海外に向けた出荷となっております。また、同月のサブスクリプション契約数は9月末では66.1万契約（前年同月比62.4%増）となり、ARR（当社がサブスクリプションから年間ベースで得られると期待できる金額）は2,375,000千円（前年同月比48.9%増）となりました。

注力しているサブスクリプションモデルでのライセンス提供は、廉価な価格で利用開始の敷居を下げる反面、一括でまとまった金額のライセンス料を徴収する買い切りモデルに比べ、短期的には収益効果が低くなります。しかしながら、継続して利用頂くことで中長期においては安定した収益が期待できるため、引き続きサブスクリプションモデルでのライセンス提供に注力してまいります。

なお、クリエイターサポート事業は、売上の過半数が日本国外からとなっており、為替の影響を受けています。各通貨に対して円安が進んでいる現状では、買い切りライセンスの販売では売上押し上げ効果はありますが、サブスクリプション契約の年払いモデルにおいては、売上を12か月に分割して計上しており、短期的な売上押し上げ効果については低くなります。また、主にドル建てで費用が発生する、クラウドサーバーインフラコストや、日本国外に出稿するWEB広告のコスト等が経費の増加に繋がっています。以上のことから、為替変動の損益に対する影響額は公示されている為替レートがダイレクトに反映されることとはなりません。

「CLIP STUDIO PAINT」は、Windows/macOS買い切り（無期限）版の提供において、2012年の販売から約10年間に無償で80回を超える機能アップデートを続けて参りましたが、2023年以降の収益改善を目的に「CLIP STUDIO PAINT」を、2023年3月に有償でのメジャーアップデート及び、年払いのサブスクリプションを必要とする提供・販売方法に変更する旨の顧客への告知を8月22日に実施いたしました。これにより、従来通り常に最新の機能を利用するためには、サブスクリプション契約をしていただく形となり、サブスクリプション契約の増加や、これまで獲得できてこなかった既存の買い切りモデルユーザーからの新バージョン購入による収益改善が期待でき、より安定した継続的なサービス提供を実現します。

以上の告知の結果、当第3四半期連結会計期間では、9月に実施した日本国外の新規ユーザー獲得目的のWindows及びMacOSの「CLIP STUDIO PAINT」ダウンロード（買い切り）版の海外向け販促キャンペーンも含んだ、現行バージョンの買い控えによる売上減の影響により、買い切り版のツール販売のみが減少しました。なお、8月22日以降のツ

ール販売以外の出荷本数及びサブスクリプション契約数、ARRに影響はございません。

本件買い控えに対する影響につきましては、10月13日に当社ホームページのトピックにてリリースしましたとおり（ご参照アドレス：<https://www.celsys.com/topic/2022101302>）、2023年3月リリース予定の「CLIP STUDIO PAINT」の最新バージョンを、購入者に無償で提供するキャンペーン等を10月14日から実施することで解消を見込んでおります。

また、クリエイターサポート事業は、戦略的な開発投資も継続して行っております。当四半期においては、昨今クリエイティブ分野で影響力を増している画像生成AIに関する開発を行っております。

さらに、WEB3及びメタバースを見据えた、新たなコンテンツ流通をサポートするソリューションの開発を、11月1日付で株式会社CLIPソリューションズから社名変更を行った、当社100%子会社である株式会社&DC3を中心に取り組んでおります。

以上の結果、売上高は4,611,306千円（前年同期比4.3%増）、営業利益は1,514,968千円（前年同期比3.3%増）となりました。

<UIUX事業>

子会社のカンデラが展開するUI/UX事業では、自動車（四輪・二輪）関連分野を筆頭に、車載向けソフトウェア開発プラットフォーム「CGI Studio」、及び、HMIの基盤であるUIオーサリングソフトウェア「UI Conductor」を中心とする自社IP製品の開発に注力しております。

当事業の主要な顧客である自動車関連分野は、前期に引き続き、新車開発の遅れによるモデルチェンジサイクルの長期化や、半導体不足等による生産台数の減少等を受け、厳しい事業環境が続きました。

当第3四半期連結累計期間では、HMI開発ツールの最新バージョン「CGI Studio 3.11」をリリースしました。また、10月20日には、開発中の次世代HMIソリューション「Candera Studio」を発表いたしました。「Candera Studio」は、自動車関連に限らず、液晶デバイスの普及により今後市場拡大が見込まれる、産業・民生機器等の幅広い分野で利用可能になることを目指しており、2023年度の正式リリースを予定しております。

以上の結果、売上高は933,001千円（前年同期比22.5%増）、営業損失は307,816千円（前年同期は415,495千円の営業損失）となりました。

(2) 中期経営計画の進捗に関する説明

2020年11月6日に発表いたしました中期経営計画で見込んでいる、2022年12月期のグループ売上8,110百万円、営業利益1,880百万円の計画に対し、当第3四半期累計実績は、売上5,544百万円（進捗率68.4%）、営業利益1,233百万円（進捗率65.6%）となりました。

(3) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べて1,974,971千円増加し10,319,642千円となりました。この主な要因は、償却により技術資産が76,733千円、繰延税金資産が69,895千円減少したものの第3者割当増資の実施等により現金及び預金が1,491,288千円、未収入金が56,680千円、ソフトウェアが246,969千円増加したこと等によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末と比べて183,505千円増加し1,951,989千円となりました。この主な要因は、未払費用が25,251千円、未払法人税等が39,814千円、役員退職慰労引当金が30,008千円、減少した一方で前受金が146,527千円、賞与引当金が61,541千円、退職給付に係る負債が64,426千円増加したこと等によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べて1,791,466千円増加し8,367,653千円となりました。主な要因は、自己株式の取得674,852千円があったものの第3者割当増資等により資本金及び資本剰余金がそれぞれ800,814千円ずつ増加したこと、利益剰余金が782,260千円増加したこと等によるものであります。なお、自己資本比率は、80.5%となりました。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年12月期の通期連結業績予想につきましては、2022年2月10日に発表いたしました業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 追加情報

(当社と連結子会社の合併)

当社は、2022年2月10日開催の取締役会において、2022年7月1日を効力発生日として、当社の連結子会社である株式会社セルシスとの間で、当社を存続会社とする吸収合併を行うことを決議し、同日付で合併契約を締結いたしました。当該契約につきましては、2022年6月21日の取締役会において、合併の効力発生日を2か月延期し2022年9月1日とすることを決議し、吸収合併契約変更に係る覚書を締結し同日付で吸収合併いたしました。

1. 企業結合の概要

① 結合当事企業の名称及びその事業の内容

(吸収合併存続会社)

名称 アートスパークホールディングス株式会社

事業の内容 グループ会社の経営管理ならびにそれに付帯する業務

(吸収合併消滅会社)

名称 株式会社セルシス

事業の内容 クリエイターサポート事業

② 企業結合日

2022年9月1日

③ 企業結合の法的形式

当社を存続会社とする吸収合併方式で、株式会社セルシスは解散します。

④ 企業結合に係る割当の内容

当社は、株式会社セルシスの全株式を所有しているため、本合併による新株式の発行及び割当は行いません。

⑤ 結合後企業の名称

株式会社セルシス

なお、2022年3月30日開催の第10回定時株主総会に付議されました定款の一部変更議案が承認されており、2022年9月1日に商号を「株式会社セルシス」に変更いたしました。

⑥ 取引の目的を含む取引の概要

今後の当社グループの中長期的な成長を実現していくため、より機動的な経営体制を構築し事業を推進することが最善であると考え、当社と株式会社セルシスを合併させ、統合会社の商号を事業会社としての認知度が高い株式会社セルシスに変更するものです。

2. 実施する会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」に基づき、共通支配下の取引として処理しております。

3. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,725,389	7,216,677
売掛金	363,293	357,206
製品	9,412	4,978
仕掛品	16,314	17,923
原材料及び貯蔵品	29,106	47,357
未収入金	299,058	355,739
その他	131,057	478,718
貸倒引当金	△130	△140
流動資産合計	6,573,502	8,478,459
固定資産		
有形固定資産		
建物	170,309	178,939
減価償却累計額	△49,924	△57,247
建物(純額)	120,385	121,691
工具、器具及び備品	308,640	341,896
減価償却累計額	△218,891	△249,753
工具、器具及び備品(純額)	89,748	92,142
有形固定資産合計	210,133	213,834
無形固定資産		
ソフトウェア	906,734	1,153,704
ソフトウェア仮勘定	3,488	1,708
顧客関連資産	62,122	41,414
技術資産	230,200	153,466
その他	76,248	89,785
無形固定資産合計	1,278,793	1,440,079
投資その他の資産		
投資有価証券	28,119	42,420
敷金及び保証金	166,504	130,231
繰延税金資産	76,134	6,239
その他	19,105	16,752
貸倒引当金	△7,624	△8,376
投資その他の資産合計	282,240	187,267
固定資産合計	1,771,167	1,841,182
資産合計	8,344,670	10,319,642

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	120,109	115,676
未払金	108,576	128,448
前受金	560,107	706,634
未払費用	159,769	134,518
未払法人税等	218,140	178,325
返品調整引当金	1,614	—
賞与引当金	64,378	125,920
その他	171,539	164,725
流動負債合計	1,404,236	1,554,250
固定負債		
役員退職慰労引当金	140,980	110,972
退職給付に係る負債	221,697	286,123
その他	1,569	643
固定負債合計	364,247	397,738
負債合計	1,768,484	1,951,989
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,275,761	3,076,576
資本剰余金	1,754,888	2,555,703
利益剰余金	2,676,615	3,458,875
自己株式	△186,550	△861,403
株主資本合計	6,520,715	8,229,752
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	12,113	18,957
為替換算調整勘定	19,253	59,396
その他の包括利益累計額合計	31,366	78,353
新株予約権	24,103	59,546
純資産合計	6,576,186	8,367,653
負債純資産合計	8,344,670	10,319,642

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2021年1月1日 至2021年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2022年1月1日 至2022年9月30日)
売上高	5,192,966	5,544,308
売上原価	2,455,542	2,480,253
売上総利益	2,737,423	3,064,054
返品調整引当金戻入額	557	—
返品調整引当金繰入額	1,651	—
差引売上総利益	2,736,329	3,064,054
販売費及び一般管理費	1,629,755	1,830,521
営業利益	1,106,574	1,233,533
営業外収益		
受取利息	370	54
受取配当金	127	152
助成金収入	53,984	24,439
為替差益	—	95,165
その他	4	0
営業外収益合計	54,487	119,812
営業外費用		
株式交付費	—	7,790
支払手数料	—	4,049
為替差損	4,590	—
特許権償却	1,993	1,752
その他	481	352
営業外費用合計	7,065	13,943
経常利益	1,153,995	1,339,402
特別利益		
関係会社株式売却益	205,651	—
新株予約権戻入益	434	2,830
特別利益合計	206,085	2,830
特別損失		
固定資産除却損	—	11,267
賃貸借契約解約損	—	48,947
特別損失合計	—	60,215
税金等調整前四半期純利益	1,360,081	1,282,016
法人税等	185,178	406,032
四半期純利益	1,174,903	875,984
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,174,903	875,984

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	1,174,903	875,984
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,410	6,843
為替換算調整勘定	18,934	40,143
その他の包括利益合計	22,344	46,986
四半期包括利益	1,197,248	922,971
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,197,248	922,971
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2022年8月5日開催の取締役会の決議に基づき、自己株式712,300株の取得を行っております。この結果、当第3四半期累計期間において自己株式が674,852千円増加し、当第3四半期会計期間末において自己株式が861,403千円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法としております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	クリエイター サポート事業	UI/UX事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,420,045	761,920	5,181,966	11,000	5,192,966
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	4,420,045	761,920	5,181,966	11,000	5,192,966
セグメント利益又は損 失(△)	1,466,501	△415,495	1,051,005	55,568	1,106,574

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、主に各報告セグメントに配分していない全社収益、全社費用の純額であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

第1四半期連結会計期間において、「UI/UX事業」を構成していた株式会社エイチアイの全株式を譲渡したため、株式会社エイチアイを連結の範囲から除外しております。なお、前連結会計年度末において、当該資産は「UI/UX事業」セグメントに597,765千円計上されております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	クリエイター サポート事業	UI/UX事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,611,306	933,001	5,544,308	—	5,544,308
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	4,611,306	933,001	5,544,308	—	5,544,308
セグメント利益又は損 失(△)	1,514,968	△307,816	1,207,152	26,381	1,233,533

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、主に各報告セグメントに配分していない全社収益、全社費用の純額であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。